

施策番号	2113		
施策名	水と緑を生かしたまちづくり		
概要	自然や歴史環境を生かした公園や水辺環境の整備などを推進し、水と緑を生かしたまちづくりを進める。		
担当局	建設局	共管局	上下水道局
上位政策	211 美しいまちをつくる		

施策の評価

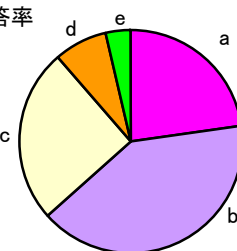
1 客観指標評価

	20年度	21年度	22年度評価				
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価
1 市街地の緑被率 (%)	—	—	—	35.0	37.0	94.6%	b
2 河川整備 (%)	b	b	54.8	55.8	55.9	99.8%	b
3 市民1人当たりの公園面積 (㎡/人)	—	—	4.68	4.69	4.68	100.2%	a
4 緑化助成事業により創出した緑化面積 (㎡)	a	a	538	609	538	113.2%	a
5 -	—	—	—	—	—	—	—
6 -	—	—	—	—	—	—	—
7 -	—	—	—	—	—	—	—
8 -	—	—	—	—	—	—	—
9 -	—	—	—	—	—	—	—
10 -	—	—	—	—	—	—	—
	a	b	客観指標総合評価				a

2 市民生活実感評価

設問	京都水と緑をうまく生かしたまちである。					
回答	20		21		22	
	回答者数	回答率	回答者数	回答率	回答者数	回答率
a: そう思う	165	21.9%	111	18.1%	133	22.8%
b: どちらかというと思う	302	40.1%	284	46.3%	236	40.5%
c: どちらとも言えない	201	26.7%	149	24.3%	148	25.4%
d: どちらかというと思わない	54	7.2%	51	8.3%	45	7.7%
e: そう思わない	31	4.1%	18	2.9%	21	3.6%
有効回答数	753		613		583	
市民生活実感評価	b		b		b	

22回答率



- a: そう思う
- b: どちらかというと思う
- c: どちらとも言えない
- d: どちらかというと思わない
- e: そう思わない

* この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

3 総合評価（客観指標総合評価＋市民生活実感評価）

	20	21	22
客観指標総合評価	a	b	a
市民生活実感評価	b	b	b
総合評価	B	B	B
重み付け	(理由)		
☐ 客観指標 ☒ 市民の実感	この施策は、市民生活の充実感及び満足感を高めることが目的であるので、市民生活実感評価を重視する。		

4 原因分析・今後の方向性 ※客観指標総合評価，市民生活実感評価，事務事業評価の結果等を踏まえて記入

【原因分析】
 ・客観指標評価は、b 評価から a 評価となっているが、新たな「緑の基本計画」を策定したことに伴い、これまでの「緑被率」という指標を、「市街地の緑被率」という指標に変更したことに伴い、評価が変わったためだと考えられる。

【今後の方向性】
 ・市民生活実感評価は、昨年度と同様 b 評価であり、まずまずの評価を得ていると考えられるが、本施策は市民の実感を重視しているため、総合評価を向上させるためには、これらの取組を市民の皆様にも広くお知らせしていく必要がある。

・今後とも、水と緑に彩られた潤いのある都市空間となるよう、河川環境の整備に取り組むとともに、緑を守り、育て、増やすことによって都市緑化の更なる推進を図っていく。また、これらの取組の広報を通じて、市民生活実感評価の更なる向上を図る。

（参考）この施策を実現するための事務事業

	事業名	21年度予算 (千円)*	22年度予算 (千円)*	21年度事務事業評価に おける今後の方向性	担当局
(従)	1 農業啓発	33,102	33,102	現状のまま継続	産業観光局
(従)	2 農業基盤整備事業	63,993	65,403	現状のまま継続	産業観光局
(従)	3 農地・水・環境保全向上対策	30,305	30,542	現状のまま継続	産業観光局
	4 河川改良	297,851	171,641	現状のまま継続	建設局
	5 大宮交通公園	19,496	19,365	縮小等による見直し	建設局
	6 梅小路公園	77,489	77,198	現状のまま継続	建設局
	7 緑の基本計画に基づく緑化推進事業	30,837	37,477	充実	建設局
	8 緑化フェア参加負担金	7,800	7,800	現状のまま継続	建設局
	9 大都市公園機能実態調査	5,119	5,119	現状のまま継続	建設局
	10 街区公園の整備	1,607,148	1,279,659	現状のまま継続	建設局
	11 淀城跡公園整備	5,918	5,918	現状のまま継続	建設局
	12 大見公園整備	1,046	1,046	現状のまま継続	建設局
	13 桂川緑地整備（西大橋右岸地区）	1,046	0	縮小等による見直し	建設局
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	合計	2,181,149	1,734,269		
	うち、主たる事業の合計 (従たる事業の合計)	2,053,749 (127,400)	1,605,223 (129,047)		

* 予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含む

施策名	2113	水と緑を生かしたまちづくり				
-----	------	---------------	--	--	--	--

指標名	市街地の緑被率（％）					
-----	------------	--	--	--	--	--

担当課	緑政課	連絡先	2 2 2 - 3 5 8 9		
-----	-----	-----	-----------------	--	--

1 指標の説明

空から見た市街地の敷地に対する緑（林地、植樹地、草地、農地、水面、裸地を含める）の占める割合

2 指標の意味

都市の水害に対する防災力を示す指標

3 算出方法・出典等

デジタル航空写真画像データを利用して、画像解析を行い緑被箇所の抽出をGISシステムによって集計

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	年度	17年度		数値	根拠	達成度
数値	—	35.0	—	—	—	—

	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値	—	37.0	37年度	95%	「京都市緑の基本計画」（平成22年3月策定）に掲載	—

5 評価基準

中長期目標に対する達成度が
a：100%以上
b：80%以上100%未満
c：60%以上80%未満
d：40%以上60%未満
e：40%未満

6 基準説明

100%以上の達成をaとし、等間隔に基準を設定した。

7 評価結果

20	21	22
—	—	b

指標名	河川整備（％）					
-----	---------	--	--	--	--	--

担当課	河川整備課	連絡先	2 2 2 - 3 5 9 1		
-----	-------	-----	-----------------	--	--

1 指標の説明

本市が河川改修を実施している一級河川（11河川）の改修計画延長に対する改修済延長の割合

2 指標の意味

河川改修が計画に対してどれだけ推進できているかを示す指標

3 算出方法・出典等

改修済延長÷改修計画延長×100

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	20年度	21年度		数値	根拠	達成度
数値	54.8	55.8	1.0ポイント増加	55.9	都市基盤河川改修事業における改修計画区間に対する22年度目標改修率	99.8%

	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値	—	56.2	23年度	99.29%	「第10次治水5箇年計画（H19～H23年度）」	—

5 評価基準

単年度目標に対する達成度が
a：100%以上
b：80%以上100%未満
c：60%以上80%未満
d：40%以上60%未満
e：40%未満

6 基準説明

目標達成には、相当の努力を要するものの、目標値を上回ることとは不可能ではないため、100%以上の達成をaとし、20%刻みで等間隔に基準を設定した。

7 評価結果

20	21	22
b	b	b

施策名	2113	水と緑を生かしたまちづくり				
-----	------	---------------	--	--	--	--

指標名	市民1人当たりの公園面積（㎡／人）					
-----	-------------------	--	--	--	--	--

担当課	緑政課	連絡先	2 2 2 - 3 5 8 9		
-----	-----	-----	-----------------	--	--

1 指標の説明

市民1人当たりの公園面積

2 指標の意味

京都市民1人当たりの公園面積が、どれだけ増加したかを示す指標

3 算出方法・出典等

京都市内の公園面積の総合計を各年度当初の人口で除したもの。事業課において調査

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	20年度	21年度		数値	根拠	達成度
数値	4.68	4.69	0.01㎡増	4.68	過去5年間の最高値	100.2%

	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値	—	—	—	—	—	—

5 評価基準

単年度目標を設定しその達成度により評価
a：100%以上
b：80%以上～100%未満
c：60%以上～80%未満
d：40%以上～60%未満
e：40%未満

6 基準説明

100%以上の達成をaとし、等間隔に基準を設定した。
過去5年間における
最高値 4.68㎡／人（平成20年度）
最低値 4.56㎡／人（平成17年度）

7 評価結果

20	21	22
—	—	a

指標名	緑化助成事業により創出した緑化面積（㎡）					
-----	----------------------	--	--	--	--	--

担当課	緑政課	連絡先	2 2 2 - 3 5 8 9		
-----	-----	-----	-----------------	--	--

1 指標の説明

緑化助成事業により創出した緑化面積

2 指標の意味

緑化助成事業により、民有地にどれだけの緑化面積を創出することができたかを示す指標

3 算出方法・出典等

緑化助成により創出した各年度の緑化面積

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	20年度	21年度		数値	根拠	達成度
数値	538	609	71㎡増	538	過去5年間の最高値	113.2%

	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値	—	—	—	—	—	生け垣緑化助成（H11～）、建築物（屋上・壁面）緑化助成（H18～）、京のまちなか緑化助成（H20～）

5 評価基準

単年度目標を設定しその達成度により評価
a：100%以上
b：80%以上～100%未満
c：60%以上～80%未満
d：40%以上～60%未満
e：40%未満

6 基準説明

100%以上の達成をaとし、等間隔に基準を設定した。
過去5年間における
最大 538㎡（平成20年度）
最低 75㎡（平成16年度）

7 評価結果

20	21	22
a	a	a